

令和2年度（公財）東京都体育協会 事業報告

(1) 競技スポーツの強化と推進に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(1) 国体候補選手強化事業 ＜定款第4条第1項-5号＞	<p>◆対象人員や競技成績等に応じて各競技団体に強化費を交付し、選手強化事業を実施</p> <p>◇対象競技：国体正式競技（本大会・冬季大会計41競技） ◇対象期間：4月～12月（冬季競技は大会直前）まで ◇強化実績：延べ2,916日間、252事業、本大会・関ブロ大会の東京都代表選手・監督等2,749名を強化</p>
	(2) ジュニア特別強化事業 ＜定款第4条第1項-3号、6号＞	<p>◆次代を担う有望なジュニア選手（小中高校生）を対象に、オリンピック競技とそれ以外の競技の2区分で、各団体に強化費を交付し、強化事業を実施</p> <p>◇対象競技：国体正式競技（本大会・冬季大会計41競技） ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ954日間、172事業、選手・監督等3,229名を強化</p>
	(3) 国体選手健康調査チェック等事業 ＜定款第4条第1項2号、7号、9号＞	<p>◆スポーツ医・科学委員会を中心とする公認スポーツドクターが、健康状態（既往症、持病、コンディション、自覚症状等）のチェック及びアンチ・ドーピングに関する指導・啓発を実施 また、スポーツファーマシストによるうっかりドーピング防止（薬の服用による）の講習を実施</p> <p>◇対象競技：国体正式競技（本大会・冬季大会計41競技） ◇対象期間：年間 ◇場所：各競技団体指定会場 ◇事業実績：国体候補選手を含め、754名を健康調査 スポーツ医・科学委員会 令和3年 3月2日（火） アンチ・ドーピング研修 令和3年 3月25日（木） 競技力向上研修 令和2年10月28日（火）参加者38名</p>
	(4) オリンピック候補選手強化事業（日本代表選考会出場選手強化事業） ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆日本選手権大会等の全国大会、世界選手権等の世界大会や、オリンピックへの出場が見込まれる東京都選手及びその指導者の強化活動を支援する。</p> <p>◇対象競技：東京都体育協会加盟のオリンピック競技（34競技） ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ114事業、470名を強化</p>
	(5) ジュニア育成地域推進事業 ＜定款第4条第1項-2号、3号＞	<p>◆地域のスポーツ振興と併せ地域におけるジュニアスポーツのすそ野を広げることを目的として実施。</p> <p>①地区体育協会事業 スポーツ教室や大会、強化練習等を実施 ・対象競技：国体正式競技（41競技）、公開競技・特別競技（5競技）、オリンピック競技（5競技）を中心とする競技 ・実績：57地区 426事業 28,355名参加</p> <p>②競技団体事業 選手層の薄い競技の普及及び選手育成等の事業を実施 ・対象競技：ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、自転車、弓道、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、ボウリング、スケート、アイスホッケー、セーリング ・実績：9競技 22事業 641名参加</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(6) トップアスリート発掘・育成事業 ＜定款第4条第1項－3号＞	<p>◆高い運動能力を持つ中学生を体力テスト等で識別(選抜)し、競技人口の少ない7競技(ボート、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、自転車)を体験させ、最も適性のある競技に転向することで、トップを目指せるように育成</p> <p>①育成プログラム(対象:前年度識別された第11期中学3年生) i スポーツ教育プログラム、ii トレーニングプログラム、iii 競技別プログラム 期間:4月～12月 修了者23名 場所:日本大学文理学部 他</p> <p>②識別プログラム(都内在住の中学2年生から第12期生の選抜) 第一次選考(体力テスト)／第二次選考(競技体験、面接) 応募者69名 合格者22名(うち1名合格通知後、辞退)</p>
	(7) グローバル指導者育成事業 ＜定款第4条第1項－3号＞	<p>◆トップコーチを日本国内外から招聘し、競技団体が主催する研修会等において実践的な指導方法を提供することで、国際大会等へ出場が見込まれる東京都選手を育成する指導者の能力開発を図る。</p> <p>◇対象競技:オリンピック対象競技のうち4競技 (ボート、バレーボール、アーチェリー、クレール射撃)</p> <p>◇招聘実績 国内外の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p>
	(8) スポーツ・インテグリティ推進事業 1 ＜定款第4条第1項－8号＞	<p>◆都内競技団体・指導者・選手等に対し、スポーツに関わる者としての責任を再確認することにより、事故防止に資するための研修を実施し、スポーツ・インテグリティの推進を図る。</p> <p>◇指導者向け研修</p> <p>①第1回「勝利より価値あるスポーツ指導とは」 ・日時:令和2年12月8日(火) 18:00～20:00 ・会場:オンライン(Zoomウェビナー) ・参加者:90名 ・講演「インテグリティとスポーツマンシップを考える」 講師 中村聡宏氏(日本スポーツマンシップ協会 代表理事・会長)</p> <p>・パネルディスカッション 「スポーツマンが社会に伝えるべきこと」 コーディネーター 中村聡宏氏 パネリスト 小野沢宏時氏(元ラグビー日本代表) 森林貴彦氏(慶應義塾幼稚舎教諭) 島沢優子氏(スポーツ・教育ジャーナリスト)</p> <p>②第2回:「選手を尊重するスポーツ指導とは」 ・日時:令和3年2月23日(火・祝) 18:00～20:00 ・会場:オンライン(Zoomウェビナー) ・参加者:76名 ・イントロダクション「スポーツ・インテグリティとは」 講師 中村聡宏氏(日本スポーツマンシップ協会 代表理事・会長)</p> <p>・パネルディスカッション 「選手を尊重するスポーツ指導とは」 コーディネーター 中村聡宏氏 パネリスト 小野沢宏時氏(元ラグビー日本代表) 島沢優子氏(スポーツ・教育ジャーナリスト) 益子尚美氏(元バレーボール日本代表) 森林貴彦氏(慶應義塾幼稚舎教諭)</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(8) スポーツ・インテグリティ 推進事業 2 <定款第4条第1項-8号>	◇競技団体向け研修 ・日時:令和3年2月1日(月)から同年2月8日(月)まで ・会場:オンデマンド配信(YouTube) ・参加者:1,084名 ・講演「スポーツ団体に求められるコンプライアンスについて(2020)」 講師 大橋卓生氏(弁護士)
2 国体推進事業	(1) 第75・76回国民体育大会 東京都予選会 <定款第4条第1項-5号>	◆第75回国民体育大会及び第76回国民体育大会冬季大会(関東ブロック大会含)に派遣する東京都代表選手を選考・決定するために、各競技別に東京都予選会を実施 ①陸上競技等 37競技 未実施 ②スケート、アイスホッケー、スキー競技 参加者 延べ566名 令和2年10月～令和3年1月 ダイードリンコアイスアリーナ、他
	(2) 第75・76回国民体育大会 関東ブロック大会への 東京都選手団の派遣 <定款第4条第1項-5号>	◆第75回国民体育大会及び第76回国民体育大会冬季大会の地区予選会である関東ブロック大会へ東京都選手団を派遣 ①第75回関東ブロック大会(31競技) 神奈川県横浜市 他 大会中止のため事業中止 ②第76回関東ブロック大会(冬季競技) 神奈川県横浜市 成年男子 令和2年12月11日(金)～13日(日) 少年男子 令和2年12月18日(金)～20日(日) アイスホッケー 参加者38名
	(3) 第75・76回国民体育大会 東京都選手団の派遣 <定款第4条第1項-5号>	◆第75回国民体育大会本大会に東京都選手団を派遣 ①第75回 本大会(鹿児島県) 陸上競技等 38競技 大会延期のため事業中止 ◆第76回国民体育大会冬季大会に東京都選手団を派遣 ②第76回 冬季大会 i. スケート・アイスホッケー競技会(愛知県、岐阜県) 令和3年1月27日(水)～1月31日(日) 愛知県名古屋市他 東京都選手団長 並木 一夫 以下67名 ★スケート:男女総合13位、女子総合11位 アイスホッケー7位 ii. スキー競技会(秋田県) 大会中止のため事業中止 ★《第76回冬季大会総合成績》 男女総合成績9位 / 女子総合成績11位

(2) 生涯スポーツの振興と普及に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 都民体育大会の開催	<p>(1) 第73回都民体育大会 ～春季大会～ ＜定款第4条第1項-1号、2号＞</p>	<p>◆区市町村対抗方式で、夏季、冬季、春季の各季に分けて順次実施する。春季で一巡する。年間総合成績で男子は高松宮殿下記念杯、女子は高松宮妃殿下記念杯を競う。</p> <p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止。第73回大会は、夏季(水泳・ゴルフ)、冬季(駅伝競走)の3競技のみ実施のため、男女総合成績の順位付けはしないこととした。</p> <p>◇令和2年5月3日(日・祝)～令和2年6月20日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場他</p> <p>① 正式競技 陸上競技等 23種目 ② 公開競技 ハンドボール競技等 5種目 ③ 公開演技 ラジオ体操 1種目</p>
	<p>(2) 第74回都民体育大会 ～夏季大会～ ＜定款第4条第1項-1号、2号＞</p>	<p>① 水泳競技:東京2020大会の会場使用等の事由により中止</p> <p>② ゴルフ競技会:令和2年10月14日(水)・15日(木) 立川国際カントリー倶楽部 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p>
	<p>(3) 第74回都民体育大会 ～冬季大会～ ＜定款第4条第1項-1号、2号＞</p>	<p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p> <p>① 駅伝競走:令和3年2月23日(火・祝) 葛飾区荒川河川敷道路、堀切水辺公園</p> <p>② スキー競技会:令和3年3月7日(日) 長野県菅平高原裏太郎ゲレンデファミリーコース</p>
2	<p>都民体育大会・東京都障害者スポーツ大会合同開会式 ＜定款第4条第1項-1号、2号、9号＞</p>	<p>◆障害のある人も、ない人も、一緒にスポーツを楽しむことができる社会の実現に取り組むというスポーツ祭東京2013での「東京都ユニバーサルスポーツ宣言」のレガシーとして、第73回都民体育大会及び第21回東京都障害者スポーツ大会合同開会式を開催。互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓できる機会を創出</p> <p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p> <p>◇日時:令和2年5月10日(日)武蔵野の森総合スポーツプラザ</p> <p>◇健常者と障害者が一緒になって行う入場行進には、合わせて約2,700人が参加予定</p>

区分	事業名	内容説明
3	都民生涯スポーツ大会の開催 <定款第4条第1項-1号、2号>	<ul style="list-style-type: none"> ◆中高齢対象のスポーツ大会で、互いに競い合いながらスポーツを楽しむ生涯にわたるスポーツ活動のより一層の普及・振興を図る。 ◇令和2年8月16日(日)～10月18日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場他 ◇10競技48地区 参加者 3,215名 (新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い7競技中止) ◇対象年齢の基準は競技ごとに設定。35歳以上が主流
4	シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOの開催 <定款第4条第1項-2号、7号>	<ul style="list-style-type: none"> ◆都内在住59歳以上のシニア世代が対象。スポーツや健康づくり活動をとおり社会参加や仲間づくり、世代間交流の促進とスポーツ実施率の更なる向上を目指した都民参加型スポーツ大会 上位入賞者は、翌年のねんりんピック東京都代表選手の選考対象となる。 ※ 第33回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ぎふ大会の延期に伴い、令和2年度は選考対象としなかった。 ◇令和2年10月3日(土)～11月28日(土) 駒沢オリンピック公園他 ◇10種目:ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ベタンク、マラソン、弓道、剣道、サッカー (3種目中止-マラソン、弓道、剣道) ◇参加者2,039名
	全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京都選手団の派遣 <定款第4条第1項-2号、7号>	<ul style="list-style-type: none"> ◆第33回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ぎふ大会(主催:厚労省・(一財)長寿社会開発センター・岐阜県)に東京都選手団を派遣 以下のとおり派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴いぎふ大会は1年延期となった。 ◇令和2年10月30日(土)～11月3日(火・祝) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場他 ◇参加対象60歳以上。東京都選手団団長 並木一夫 以下344名 スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(16種目) 文化交流大会(4種目) 派遣選手(336名)・役員(8名)
	シニアスポーツ振興事業 <定款第4条第1項-2号、7号>	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京都の高齢者のスポーツ実施率の向上と、健康維持・増進に寄与するため、地区体育協会等が主催者となり、シニア世代を対象としたスポーツ競技会、講演会、講習会等の事業を実施 ◇対象 主として60歳以上の都民 ◇期間 年間 ◇会場 都内他 ◇参加人数 45地区 197事業 12,112人 (新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い130事業中止)
5	都民体育大会等の事業見直しに係る調査検討 <定款第4条第1項-1号、2号>	<ul style="list-style-type: none"> ◆都民体育大会と都民生涯スポーツ大会について、都民のニーズに合わせた実施内容で再構築するため、現状を多角的な視点から分析、調査し、各大会の今後のあり方について検討した。 ◇調査分析 令和2年5月29日(金)～12月31日(木) ◇事業見直し検討会 令和3年3月(2回実施) ◇事業実績 ・両大会の現状、社会を取り巻くスポーツ競技の現状、都民のスポーツ大会に対するニーズの把握等についての調査・分析を、業務委託により実施した。 ・検討会委員の専門的見地から、①両大会のあり方、②実施競技種目等、③参加要件等や運営内容、の3つの事項について、両大会の再構築に向けた検討を実施した。

(3) 地域におけるスポーツ振興体制の整備充実等に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 地域スポーツ振興体制の充実	(1)加盟団体代表者会議 ＜定款第4条第1項－2号、8号＞	<p>◆加盟団体に対し、毎年度開始前の事業計画・収支予算案の説明と終了後の事業報告・決算報告を通じた意見交換のほか、諸課題への対応協議、情報提供などを実施</p> <p>◇対象 計 111団体(競技団体41団体／種目団体8団体／地域体育団体59団体／学校体育連盟 小・中・高3団体)</p> <p>①開催日:令和2年6月7日(金)に開会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い書面開催とした。</p> <p>◇議題等 ア 2019年度事業報告並びに財務諸表(案)について イ その他</p> <p>◇情報提供 東京都オリンピック・パラリンピック準備局から</p> <p>②開催日:令和2年3月6日(金)に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、書面開催とした。</p> <p>◇議題等の「令和2年度事業計画・収支予算(案)について等」は、配布資料を4月20日に郵送した。</p>
	(2)地区体育協会等の振興 ＜定款第4条第1項－1号、2号＞	<p>◆地区体育協会、学校体育連盟、種目団体に対し、規模に応じて区分を設け、組織強化と事業推進のため、振興費を交付</p> <p>◇対象</p> <p>①地区体育協会 59団体 ②学校体育連盟 3団体 ③ 種目団体 8団体</p>
	(3)幹部中央研修会 ＜定款第4条第1項－2号、8号＞	<p>◆加盟団体の当面する課題解決の方策や今後の事業のあり方等について、講演や研究協議、事例発表等の研修を実施</p> <p>・日時:令和3年2月1日(月)から同年3月31日(水)まで</p> <p>・会場:オンデマンド配信(YouTube)</p> <p>・参加者数:加盟団体の幹部役員 290名</p> <p>・内容</p> <p>①主催者挨拶 山本博(公益財団法人東京都体育協会 会長)</p> <p>②講演「スポーツの意義と指導者の役割 ーコロナ禍の今、スポーツ指導の目的を考えようー」 講師:渋谷崇行氏(桐蔭横浜大学教授／ 一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表)</p>

区分	事業名	内容説明
2 顕彰事業	(1) 生涯スポーツ功労者 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆スポーツの振興に貢献し、功績のあった者。 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、表彰式は中止 ◇表彰人数 68名
	(2) 生涯スポーツ優良団体 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆スポーツの普及活動と地域のスポーツ振興に功績顕著な団体 ◇実施日 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、表彰式は中止 ◇表彰団体数 55団体
	(3) 国体優勝等選手表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	①国体優勝団体(国体で男女総合成績第1位の競技団体) ◇対象者なし ②特別功労者 (国体等で世界新記録又は日本新記録で優勝した選手) ◇対象者なし ③国体優勝功労者(国民体育大会で優勝した選手、監督) ◇対象者なし ④国体優秀選手(国民体育大会で入賞した選手) ◇対象者なし 新型コロナウイルス感染拡大防止により式典は実施なし
	(4) 中学校・高等学校全国 大会優勝者、優勝チーム ＜定款第4条第1項-8号＞	◆東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟の 所属学校生徒で、全国中学校体育大会及び全国高等学校 総合体育大会の優勝者、優勝チームを表彰 ①優勝チーム 表彰団体 該当者なし ②優勝者 表彰者 該当者なし
	(5) 体育優良生徒表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆中体連、高体連の生徒で体育、学業ともに優秀な者 (2020年度卒業生) ①中学校 1,449名 ②高等学校 759名
	(6) 永年勤続功労者表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆本協会役員で、永年にわたりスポーツ振興に尽力し、功績顕著な者 ◇該当者なし

区分	事業名	内容説明
3 公認スポーツ指導者の養成と研修	<p>(1) 公認スポーツ指導者養成講習会 (コーチ1・コーチ2)</p> <p><定款第4条第1項-4号、8号></p>	<p>◆ 地域スポーツ組織での競技の専門的な技術指導、スポーツクラブ等の育成・運営指導、スポーツ大会等の企画・運営を行う指導者養成を目的とした「スポーツ指導者の知識・技能審査事業」</p> <p>① コーチ1(専門科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPO委託: ホッケー19名、バドミントン19名、計2競技38名 ・独自開催: ソフトテニス25名、山岳22名、スポーツクライミング12名、計3競技59名 <p><中止> バレーボール、軟式野球、ソフトボール、ボウリング 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p> <p>② コーチ2(共通科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPO委託: <中止> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p> <p>③ コーチ2(専門科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPO委託: <中止> 卓球、バドミントン、スポーツクライミング、空手道 <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止</p>
	<p>(2) スポーツ指導者研修会</p> <p><定款第4条第1項-4号、8号></p>	<p>◆ 公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を実施</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止(全3回とも)</p>
	<p>(3) スポーツ指導者派遣事業(人材バンク)</p> <p><定款第4条第1項-4号、8号></p>	<p>◆ 東京都公立学校の学校部活動の外部指導者の確保を目的として、日本スポーツ協会公認指導者の活動機会の拡充、資質の向上を図るため、人材バンクへの登録・紹介等を東京学校支援機構(TEPRO)の委託を受けて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務 東京都登録指導者への事業チラシ配布(約10,000部) ・指導者紹介事業 ・相談業務 ・研修業務 年間4回
	<p>(4) スポーツ東京案内事業 指導者派遣事業(新規)</p> <p><定款第4条第1項-4号、8号></p>	<p>◆ 地域スポーツの活性化へ寄与するとともに、スポーツを楽しむ機会を創出することを目的として、(公財)東京都スポーツ文化事業団と連携し、区市町村が主催するスポーツ教室等に指導者を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣実績: 6件
4	<p>日中・日韓等スポーツ交流事業</p> <p><定款第4条第1項-2号、7号></p>	<p>◆ 韓国、中国、ロシアにおいて、地域レベルにおけるスポーツ交流を実施し、相互理解を深め友好親善とスポーツ振興を図るために実施</p> <p>希望地区なし</p>

区分	事業名	内容説明
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進 ①	(1) 登録の推進と地区本部の振興 < 定款第4条第1項-2号、6号 >	ア 役員・指導者・団員数に応じ、地区本部37地区に対する振興費の配分 前年度の状況: 令和元年11月現在 332団 指導者数 2,835名 団員数 9,241名 役員(地区本部段階)数94名 イ ブロック別の活動に対する振興費の配分 城西、城北の2ブロック
	(2) 指導者、リーダー等の養成と研修 < 定款第4条第1項-2号、6号 >	ア スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 イ ジュニアリーダースクール等の開催 ・ジュニアリーダースクール 令和2年11月22日(日)・23日(月) / 国立オリンピック記念青少年センター 令和2年12月20日(日) / Japan Sport Olympic Square 14階 参加者数7名、リーダー2名、指導者4名 ・東京都リーダー研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ウ 派遣事業の実施及び開催 ・関東リーダー研究大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、Web開催(山梨県主管) 令和3年2月20日(土) 出席者: 4名(指導者1名、リーダー3名) ・シニア・リーダースクール 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・全国リーダー連絡会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

区分	事業名	内容説明
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進 ②	(3)少年団交流活動の推進 <定款第4条第1項-2号、6号>	ア 東京都スポーツ少年団競技別交流大会の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 イ 東京都スポーツ少年団大会の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ウ 全国大会等への派遣及び開催 ・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・関東ブロックスポーツ少年大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・全国スポーツ少年大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・全国スポーツ少年団競技別交流大会 ①全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ②全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ③全国スポーツ少年団剣道交流大会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止
	(4)指導者協議会 <定款第4条第1項-2号、6号>	① 指導者研究協議会の実施 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ② 全国研究大会等への派遣 ・全国スポーツ少年団指導者協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・ジュニアスポーツフォーラム 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・関東ブロック指導者研究協議会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、Webにて開催 (神奈川県主管) 令和2年12月20日(日) 参加者:4名
	(5)東京都スポーツ少年団表彰 <定款第4条第1項-2号、6号>	◆表彰式の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 永年功労者表彰15名、功労者表彰17名、永年活動優秀団体3団 感謝状8名

区分	事業名	内容説明
6 スポーツを通じた被災地支援事業	(1) 東京2020大会 被災地交流事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆ 東日本大震災の被災県(岩手県・宮城県・福島県)の子ども達等を東京2020大会に招待するとともに、体を動かす機会を提供し、子ども達に夢と希望を与えることを目的に実施 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、東京2020大会が1年延期となったため、本事業についても令和3年度へ延期
	(2) 東京マラソン2021(10km) 高校生招待事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆ 東日本大震災の被災県(岩手県・宮城県・福島県)の高校生を東京マラソン2021(10km)に招待し、被災地を支援 ・日程: 令和3年3月6日(土)～3月7日(日) ・招待人数: 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年10月16日(土)～10月17日(日)へ延期
7	総合型地域スポーツクラブの育成支援 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆ 生涯スポーツ社会の実現に寄与することを目的に、総合型地域スポーツクラブの育成支援につとめる。 ・SC東京ネットワークを基盤とした支援事業 ・登録・認証制度勉強会 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止 ・東京都主催「地域スポーツクラブにおける登録・認証制度の整備に係る運用体制等検討PT」年2回出席

(4) 自主事業の実施

区分	事業名	内容説明
1	広報活動の充実 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆ ホームページやツイッターを活用して、随時、情報発信を行った。本協会の会報を年1回発行した。
2	トップアスリート交流事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	◆ トップアスリート発掘・育成事業の第11期生達に、海外の同世代で同じく世界を目指すアスリートたちと交流させることで世界を強く意識させトップアスリートになるための意識の醸成を図った。 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止
3	スポーツ指導者研修会 ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	◆ 公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を施 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

※ 以上のとおりであるが、令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。